

地域密着型企业として 地域の豊かな発展に貢献



札幌宅商グループ本部 株式会社

company outline

住 所 札幌市豊平区平岸2条6丁目1番18号
平岸グランドビル別館2階

業 種 不動産業・物資賃貸業
(うち不動産業)

従業員数 80名

設 立 昭和46年8月

認 定 2023年3月

U R L <https://www.sapporotakusho.co.jp>

地域と共に成長する パートナーを目指しています

札幌宅商グループ本部株式会社は、地域に根ざした不動産会社として、地域の方々との信頼関係構築を大切に貢献活動に取り組まれています。その一環として、CIS (Customer Impressive Satisfaction=顧客感動満足) 活動という、顧客の「満足」とどまらずさらに期待を超えた「感動」を提供するために、会社の中で選抜チームを編成し、町内会や商店街のイベントに参加したり、「宅商カップ」という小学3、4年生を対象としたサッカーの公式試合を主催したりしています。

今後も平岸を中心に、地域の発展につながるような活動を続けていく予定です。



取締役 船越 弥一郎 さん

REPORT

地域の方々が住み良いまちづくりを目指して

各店舗では、「住み続けられるまちづくり」をテーマに地域に根ざした企業として町内会・商店街にも加盟し、様々な活動に取り組んできました。これまでの主な活動は、YOSAKOIソーラン祭り平岸会場で演者・観客の誘導を行う運営や、なんぴらハロウィンスタンプラリーの対象店として子どもたちへのお菓子の配布、平岸街道の花植え、事務所周辺の清掃活動など多岐にわたっています。

その中でも清掃活動はスマイル企業に登録する以前から10年以上続けており、通りを歩いて



10年以上続けている清掃活動

いる方から「ご苦労様です」と声をかけていただくこともあるそうです。地域の方とのコミュニケーションも生まれ、社員のやりがいにも繋がっていると担当者は語りました。中学校を対象とした出前授業では、不動産の仕事とはどういうものか、そのやりがいなどを子どもたちに丁寧に説明しています。

創立から50年以上続いている不動産会社として、常に地域に存在する意味を考え、地域から求められる不動産会社であり続けられるよう、まちづくり活動にも力を入れて取り組んでいくそうです。



南平岸商店街主催のハロウィンスタンプラリー

Point

小学生にサッカーの喜びを

小学校3、4年生 (U-9、U-10) を対象とした「宅商カップ」の開催は、2025年度で7年目を迎える大切なCIS活動の1つです。活動を始めたきっかけは、小学校3年生以下を対象としたサッカーの公式試合が少ないという話を聞き、冠試合を開催することで小学生たちが活躍できる機会を作りたいという思いから。今では小樽や苫小牧から参加するチームもあり、例年、この大会を目指して子どもたちが一生懸命練習に励んでいるそうです。実際に試合に勝つ喜びを子どもたちが経

験することが、北海道のクラブチームの発展に繋がっています。



宅商カップ 2024 開会式の様子